

総合評価試行は順調

優良表彰やDXで議論

(一社)建設コンサル
タツコ協会九州支部(田
中清支部長)は2日、鹿
児島市の青少年会館で鹿
児島県との意見交換会を
開催し写真した。今年
度から試行を開始した総
合評価方式の運用につ
いて、順調に進んでいる
との認識で一致。また同支
部は、今後総合評価にお
いて技術提案を導入する
際には、低入札の調査基
準価格の見直しについて
検討するよう求めた。

から田中支部長や上村俊
英副支部長らが出席。県
からは橋本竜一土木部技
術次長、森元幸友公共事
業調整監らが参加した。
議題では、鹿児島県へ
の個別提案として、優良
業務の表彰、ウィーク
リースタンスの実施、情
報共有システムの活用、
総合評価方式の4項目に
ついて要望。また全自治
体共通の要望として▽担
手の確保・育成のため
の環境整備▽技術力によ
る選定▽品質の確保・向

上▽DX推進の環境整
備を求めた。
同支部は優良表彰につ
いて、「企業や技術者の
技術力向上やモチベー
ションアップにつながる
ものだが、地質調査や建
築設計と合わせて土木部
長1件、建設部長等表彰
3件となっている」と
し、土木関係建設コンサ
ルト単体で土木部長
1件、建設部長等表彰3
件を表彰するよう求め
た。加えて、工事と同様

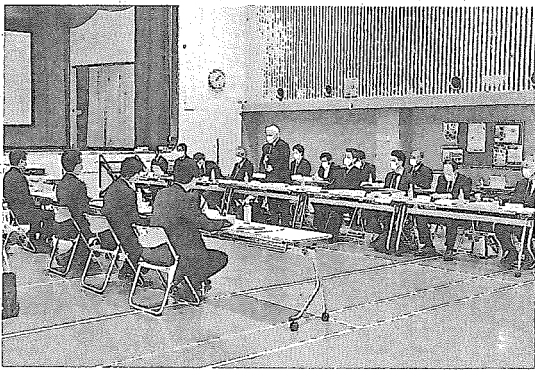
に優秀技術者・若手有望
技術者表彰の導入を要
望。同県は、国や他県の
状況を注視していくと
した。
ウィークリースタンス
について、県は今年5月
に実施要領を策定した。
同支部は、実施要領で
「対象業務は特記仕様書
に明記すること」として
いるが、3割程度にとど
まっていると指摘。これ
に対し、各執行機関への
周知を再度徹底してい
くと答えた。

また県で
は、今年度か
ら総合評価方
式を試行して
いる。今年度
は地域高規格
道路の詳細設
計業務12件で
試行してお
り、県と同支
部で順調に進
んでいるとの
認識で一致し
た。来年度以

降については、今年度の
実施状況などを踏まえて
評価項目を検討していく
とし、発注予定について
は現時点では未定だとし
た。
同支部は、総合評価方
式における低入札調査基
準価格について、今後技
術提案制度を導入した場
合に受注者の必要な作業
が増えることから、調査
基準価格の引き上げなど
について検討するよう求
めた。その他、情報共有
システムについては、活
用状況などについて情報
を共有した。

各自自治体共通の議題で
は、担い手の確保育成の
ために安定的な事業量の
確保や人材育成のための
施策、適正な設計変更な
どを要望した。特に設計
変更については、会員へ
のアンケートで変更を希
望したが変更されなかつ
たと回答があったと説
明。適切に指導してい
くと答えた。

また品質確保に向け、
設計条件明示チェック
シートの活用推進を要
望。支部は、現場レベル
での試行を開始している
ことなどを紹介、県に活
用を推進するよう強く求
めた。
DX推進の環境整備で
は、BIM/CIMの導
入に向けた環境整備やW
EB会議の活用などを要
望した。同県はWEBで
打ち合わせなどを行うた
めのハード整備を完了し
ていると説明。打ち合わ
せや竣工検査などいずれ
かの段階でWEBを活用
した案件は全体の38%程
度になると説明するな
ど、WEBの活用状況に
ついて情報を共有した。



意見交換会には、支部
の選定▽品質の確保・向